

令和元年度 三学期始業式 挨拶

令和2年1月14日（火）

おはようございます。令和2年がスタートして約二週間が経ちました。今年は暖冬のため雪が少なく、過ごしやすい冬になっていますがインフルエンザの流行の兆しもあり油断できないようです。

2学期の終業式でお願いしましたが、大きな事故もなく今日3学期の始業式を迎えられたことが一番嬉しいことです。また、この冬休み中、講座や部活動で頑張っている皆さんの姿を見て、全員の願いが叶って欲しいと強く思いました。

この年末から年始にかけて国内外では様々なニュースがありましたが、私にはスポーツの清々しい話題が心に残りました。特に正月の箱根駅伝において、昨年5連覇をのがした青山学院大学が連覇を目指した東海大学を破り優勝した事が印象深かったです。一回勝つことさえ大変ですが、勝ち続けることがいかに難しいか、一度敗れた後再び勝者となるためには、自分が弱いという現実を受け入れ、再び立ち上がる勇気をもつ事だと感じました。何事にも通じることではないかと思えます。

しかし、何と言っても皆さんと同じ年代の県内の高校生の活躍に目を見張るものがありました。

春高バレーでは秋田北高校が4度目の出場で初勝利を挙げましたし、ラグビーの秋田中央高校は4年ぶりに初戦突破しました。男子バスケットでは能代工業高校が昨年に引き続き2勝しています。その他、駅伝の秋田工業高校が都大路で県高校記録を1分以上も更新し13位に輝きました。多くの県内の高校生が全国を舞台に大いに活躍してくれました。

全国的にも人口減が顕著であり、高校生自体が減ってきている秋田県において、若い高校生達がこのように全国レベルで活躍しているのを見たり聞いたりすると、秋田の未来は決して暗くはないなと感じます。

同じ高校生である皆さんにとっても、そのような全国区で活躍する身近な存在は、自分達も出来るという自信につながるのではないかと思います。

本校でもこれから全国の舞台に臨む選手がいますが、全国に本荘の名を轟かせて欲しいと思います。今年の本荘高校の活躍に大いに期待をします。

さてこれから始まる三学期は、今年度を締めくくり、新年度の飛躍につながる大事な学期です。特に3年生の中で今週末からセンター試験に向かう生徒諸君には強い気持ちで、これまでの3年間本高で学んだことを全て出し切り、自分の高校時代の物語を完結させて欲しいと願っています。本番に臨むに当たっては、自分の意思でコントロールできる今を大切にしたいと思います。やり残したことがあると

悔いたり、まだ見ぬ問題に不安を感じたりすることは誰しもあります。そのことに心を乱されてはなりません。今という唯一確かな時に全力を尽くし、最後の終了ベルが鳴るまで、自分のもっている全てを出し切ることを考えてください。後輩達も先生方も全力で応援しています。

1・2年生の皆さんは、これからの1年間、2年間、まだ自分を磨く時期です。2年生は、来年度からの新しい大学入試制度が始まりますが、英語民間試験導入の延期や国語・数学の記述式中止など混乱がありました。しかしそのような制度変更などに惑わされず、確かな学力を身に付ける事を考えてください。本荘高校の先生方を信じ、日々の学習を大切にしてください。部活動ができるのもあと五ヶ月、全国大会に行ったとしてもあと七ヶ月です。結果に悔いを残さぬよう日々の練習に全力を尽くしてください。

1年生の皆さんは、入学してもう一年が過ぎようとしています。もうすぐ後輩達も入学してきます。大切な時間ほど速く過ぎていきます。自らの目標を確立するとともに、中堅学年として後輩達をしっかり導いて欲しいと思います。

昨年大リーグを引退したイチロー選手の言葉が思い出されます「小さな事を重ねることが、とんでもないところへいくただ一つの道」私がいつも心に留めている言葉です。

最後に、今年度ずっと皆さんにお願いしてきたことをもう一度確認して終わりにしたいと思います。それは「正々堂々」という言葉です。勉強においても、部活動においても、また友達とのつきあいにおいても、学校内外どこにあっても、一人の人間として、卑怯な手段を使わず、誰にも恥じる事のない立派な態度で今年度を締めくくって欲しいとお願いし、挨拶とします。